

『写真週報』表紙に見る女子の勤労働員・挺身隊



倉庫増設のために農地改良工事を行う若い女性たち  
【写真週報】第274号表紙（昭和18年6月2日、情報局発行）



福原訓練学校で機械実習をする若い女性  
【写真週報】第293号表紙（昭和18年10月13日、情報局発行）



村越工場で働く女子挺身隊員  
【写真週報】第314号表紙（昭和19年3月22日、情報局発行）



学校に取られた工場で働く女学校生  
【写真週報】第318号表紙（昭和19年4月26日、情報局発行）



飛行機の翼を造る女子挺身隊員  
【写真週報】第326号表紙（昭和19年6月21日、情報局発行）



若い女子工員  
【写真週報】第333号表紙（昭和19年8月9日、情報局発行）

『写真週報』表紙に見る戦時下の結婚・出産・育児



戦時軍人と婚約者  
【写真週報】第189号表紙（昭和16年10月1日、情報局発行）



出征兵士の妻と子供  
【写真週報】第166号表紙（昭和16年4月30日、情報局発行）



戦時軍人と子供  
【写真週報】第157号表紙（昭和15年10月9日、内閣情報局発行）



赤ちゃんは未来の兵隊、丈夫に育てるのがお母さんの使命です。  
【写真週報】第269号表紙（昭和18年4月28日、情報局発行）



三つ子の元氣  
【写真週報】第337号表紙（昭和19年9月6日、情報局発行）



写真週報に掲載された保険や栄養剤の広告  
【写真週報】第118号、第141号、第161号、第162号の裏面

展示バナー

## 第 25 回企画展示『守山空襲—戦場となった滋賀県—』

会期 令和 2 年(2020 年)1 月 8 日(水)～7 月 12 日(日)

会場 当館企画展示スペース

趣旨 古くから中山道の宿場町として栄え、戦時中においても、豊かな水田での食糧生産もあり、都市部ほど食糧事情がひっ迫せず、大阪市からの疎開児童を受け入れるなど、つらい時代にあっても比較的、平和な暮らしが営まれていた守山は、昭和 20 年(1945 年)7 月 30 日午後、紀伊半島沖の空母ハンコックから発進した 4 機の戦闘機によって空襲を受けた。守山空襲では、機銃掃射によって守山駅を発車する列車が攻撃され、乗客や駅周辺の人々が犠牲となった。その数は、確認されているだけで死者 11 名、負傷者 22 名。県下の空襲被害としては、大津市の東洋レーヨンに落とされた模擬原爆に次ぐものであった。企画展示では守山空襲体験者の証言や関係資料により、空襲被害の実態を紹介した。



第 25 回企画展示チラシ

展示の様子

### 概要

#### 【プロローグ 清流と街道の町『守山』】

中山道の宿場町から地域の商工業の中核都市へと発展した守山の町を、戦前～戦後の写真などを使って紹介した。

#### 【戦時下の守山・戦地へ向かった守山の人びと】

戦時下にあっても比較的、平和な日常生活が営まれていた守山においても、住民は金属供出や勤労動員などを強いられるとともに、多くの方が兵士として戦場へ送られたことを、体験談や関係資料を使って説明した。

各地の戦場写真を配したバナーを背景にマネキンを使って、ビルマの戦場やシベリアでの抑留時に着ていた継ぎはぎだらけの服や、傷病兵が着ていた病衣などを展示することで、兵士たちの過酷な戦地で生活を紹介した。



清流と街道の町『守山』



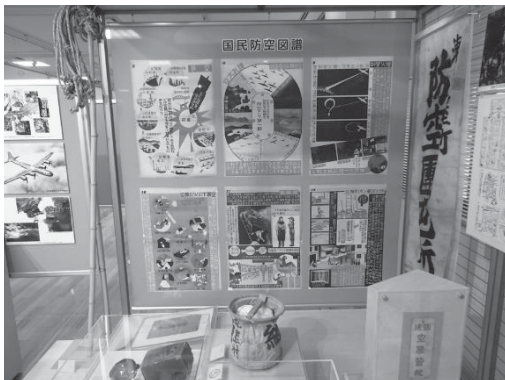
戦地へ向かった守山の人びと

**【日本本土への空襲と空襲に対する備え】**

米軍機から発射・投下された爆弾・機銃弾・予告チラシを展示するとともに、空襲被害（都市焼失面積）を琵琶湖のイラストを使って分かりやすく説明した。政府が国民を指導した空襲への対応がいかにか欺瞞に満ちたものであったかを説明するため、政府が推奨する対応策が描かれた「国民防空図譜」の写真を配したバナーとともに、当時、実際に使われていた防空・防火用具を立体的に展示した。

**【滋賀県への空襲】**

滋賀県への空襲を年表と被害位置図で示したバナー（「滋賀県への空襲」）で全体像を説明するとともに、県内で最も多くの方が犠牲になった東洋レーヨン（大津市）への模擬原爆投下と守山空襲に関係が深い大津の航空基地への空襲について体験談を中心に紹介した。



空襲への備え



昭和20年7月30日 戦場となった守山

**【昭和20年7月30日 戦場となった守山】**

今回の企画展示では、日米の公文書に米軍側の攻撃記録（空母ハンコックの艦載機『航空機行動報告書』）に2行程度の記載（「守山において、全4機の戦闘機が機関車を攻撃し、駅に向けて機銃掃射をあげせた。」）が残るだけの守山空襲について、空襲に遭遇された方々の証言をもとに空襲の全貌復元を試みた。体験談を複合的に組み合わせ、時系

列に並べて紹介することで、体験者たちはなぜその時、守山駅周辺にいたのか、空襲時に人々はどんな行動をとったのか、空襲直後の守山の町の状況や人々の行動、負傷者の救護と犠牲者の慰霊など、空襲を受けた7月30日の守山の町や人々の行動を鮮明に浮かび上がらせることを目指した。

#### ①証言者のプロフィールと行動

空襲に遭遇された体験者の空襲前後の行動や空襲被害状況を地図に落とし込んだバナー「体験証言に見る守山空襲」で全体像を示すとともに、イラストを使ったパネル「今回ご紹介する守山空襲関係者のプロフィール」で、体験者の当時のプロフィールや相互関係を紹介した。

#### ②空襲までの行動

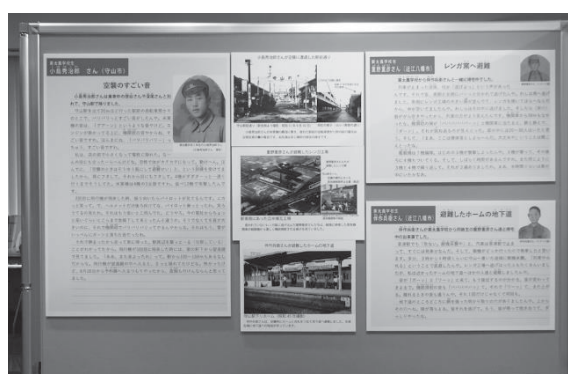
証言者たちが空襲直前に守山駅周辺にいた理由（勤労働員からの帰宅途中や農作業のための一時帰宅など）を、体験証言により紹介した。

#### ③空襲時

空襲時の避難の様子や米軍艦載機の爆音やパイロットの姿など、緊迫した状況とともに、証言者が空襲に遭遇した場所の現在の写真を紹介し、身近な場所で起きた出来事であることをより深く理解できるものとした。

#### ④空襲を受けた旧山中家住宅

機銃掃射の傷跡が残る旧山中家住宅の部材（天井・土壁、床板など）を立体的に復元展示することにより、米軍機の機銃掃射の威力や当時の生々しい様子を実感できるものとした。



機銃掃射を受けた旧山中家住宅の部材

空襲時の体験談

#### ⑤空襲直後

地域住民による空襲火災の消火活動や、死傷者があふれかえった町や病院の様子など、騒然となった守山の町の様子を紹介した。

#### ⑥空襲の犠牲者

一緒に列車に乗っていた友人を亡くした小島秀次郎さんや兄が空襲で亡くなった苗村千恵子さんの体験談を紹介し、空襲・戦争の悲惨さをより強く感じてもらうものにした。

## 【エピローグ 守山空襲から75年が過ぎて】

今もなお、身元不明の犠牲者がいることや死傷者の実数が不明である一方で、75年の時が過ぎて空襲現場が大きく変貌し、戦争の記憶が薄れつつあることを紹介した。

### 滋賀県への空襲

空襲日時	空襲の概要・被害状況
昭和20年(1945年)	
5月14日 午前	名古屋空襲へ向かうB29爆撃機が彦根市の旭森国民学校(東沼波町・●)、甲賀市信楽町・寺庄町(●)を機銃掃射。迎撃した日本軍機が撃墜される。負傷者8名。
5月17日 23:00頃	守山市・野洲市の湖岸周辺(●)と大津市上田上地区(●)に焼夷弾を投下。
5月26日 9:30	B29爆撃機が彦根市田原地区付近(●)へ焼夷弾を投下。
7月10日-19日	B29が彦根市城南国民学校(西今町・●)へ焼夷弾を投下。死者8名、負傷者12名。米軍機が米原を機銃掃射。
7月24日 7:30頃	B29爆撃機が大津市の石山東洋レーヨン滋賀工場(園山・●)に焼夷弾を投下。死者16名、負傷者104名以上。
7月24日 8:00頃	空母ハンコック艦載機(ヘルキョット)12機が八日市飛行場(東近江市沖野地区ほか・●)を攻撃。格納庫や飛行機を破壊。御園町(●)の市川眞信さんなど死者2名以上。米原付近で近江鉄道の電車(10)を攻撃。
7月25日 6:00頃	空母ペローウッド艦載機(ヘルキョット)が彦根市の軍需工場や列車を攻撃。工場(近江航空工場(馬場・●)、縫紉工場(長登橋町・●)、小野田セメント工場(舌沢町・●)に焼夷弾を投下。国鉄の列車(岡町付近・14)や近江鉄道の電車(東沼波町付近・15)に機銃掃射。死者6名、負傷者35名。
7月25日 7:00頃	八日市飛行場(●)を攻撃し、飛行機を破壊。日本軍機と空中戦。日本軍2機と米軍2機が撃墜。2名死亡。
7月25日 7:00頃	空母ハンコック艦載機(ヘルキョット)12機が八日市飛行場(●)を空襲。格納庫・飛行機を破壊。東近江市建部地区(●)でトラックが爆撃に巻き込まれ、教員1名が死亡。
7月25日 12:00頃	空母ハンコック艦載機(コルセア)12機が八日市飛行場(●)を空襲。飛行機・格納庫を破壊。東近江市小幡町(●)で田中さん宅に爆撃が直撃し、夫婦が死亡。
7月28日 7:00頃	空母ペローウッド艦載機(ヘルキョット)が長浜市鐘紡長浜工場(鐘紡町・●)を爆撃。死者1名、負傷者1名。彦根市で3ヶ所の軍需工場(近江航空工場(●)、縫紉工場(●)など)を爆撃。米原駅機関車庫(米原・19)を爆撃。機関士1名が死亡。彦根～米原間(20)の鉄道を機銃掃射。八日市飛行場(●)を空襲。今津上空で日本軍機4機を撃墜。死者7名。
7月28日 12:00頃	空母ペローウッドの艦載機(ヘルキョット)が大津市の滋賀海軍航空隊(原川地区・●)を空襲。彦根駅北方の列車(20)を機銃掃射。彦根市湖岸の工場を爆撃。
7月28日 12:00頃	空母ハンコック艦載機(コルセア)7機が八日市飛行場(●)を空襲。付近の機関車を機銃掃射。
7月30日 6:00~	空母ペローウッド艦載機(ヘルキョット)が米原駅機庫(●)の機関車2両を爆撃。米原付近(20)と八日市付近(25)の列車を機銃掃射。彦根市高宮などの工場(●)を爆撃。八日市飛行場南東の工場(●)を爆撃。東近江市石谷町(●)の児童2名(山田久司さん・志勇さん)が機銃掃射を受け死亡。
7月30日 12:00頃	東近江市の日清結晶製川工場(林町・●)が爆撃を受けて炎上。死者1名以上。近江八幡市の安土駅(安土町上豊浦・22)で列車が攻撃を受け、機関車大破。負傷者1名。南五箇荘国民学校(五箇荘地区・●)が爆撃・機銃掃射を受けて破壊。
7月30日 12:00頃	空母ハンコック艦載機(コルセア4機)が大津市の大津少年飛行員学校(御陵町ほか・●)、滋賀海軍航空隊(唐崎地区・●)を爆撃・機銃掃射。死者1名。
7月30日 15:30頃	空母ハンコック艦載機(ヘルキョット4機・コルセア3機)が大津海軍航空隊(●)を爆撃。負傷者2名。彦根市下物町(●)で機銃掃射。4機の戦闘機が守山市の守山駅周辺(列車(梅田町・13)を機銃掃射。死者11名以上、負傷者22名。近江八幡市の近江八幡駅付近(日吉野町・14)で機関車を機銃掃射。付近で農作業をしていた北川千枝さんと機関士1名が死亡。
7月30日	米軍機が彦根市の軍需工場(近江航空工場(●)、外野(●)、縫紉工場(●))、小野田セメント工場(●)や花田国民学校(甘谷町・●)を機銃掃射。
7月31日 昼頃	米軍機が彦根市南河瀬地区(●)、西今町(●)、豊郷町安食地区(●)の水田に爆撃を投下。
7月31日	米軍機が近江八幡市の日野川鉄橋(29)で貨物列車を機銃掃射。
8月12日	米軍機が米原(19)を機銃掃射。
8月13日	米軍機が天虎飛行研究所彦根分所(野洲市葛原●)の水上飛行機を機銃掃射。琵琶湖上空で日本軍機と空中戦。日本軍機4機が撃墜され、4名死亡。周辺住民2名が弾丸により死亡。

**滋賀県空襲被害地図**

凡例

- 空襲を受けた場所
- : 軍事基地
- : 軍需工場
- : 列車・鉄道施設
- : 学校・個人家屋など
- : 正確ない位置が不明な被害場所

展示バナー「滋賀県への空襲」

- 15 -